

レタッチお助け隊

●ナビゲーター Let'sフォト絵

【今回使用したソフト】AdobePhotoshopElements(TM) アドビシステムズ

3月

FUNCTION

色相・彩度

モノクロ・セピア変換で、現在を過去のイメージに

お使いのデジタルカメラにモノトーン撮影機能がなくても、今やレタッチソフトのカラー操作は自由自在。モノクロ・セピアへの変換もお手軽そのものです。そこで、大切な思い出写真をセピアやモノクロ調に変えてみませんか？瞬時にレトロ風の写真に仕立てることができますよ。



Section 1

元画像を用意しよう

まず、レタッチする写真を用意しましょう。できれば、被写体の輪郭がはっきりしている写真、人物写真などがオススメです。画面にさまざまな被写体がたくさん写り込んでいて、カラー表現に依存する写真は、モノトーンには向きません。今回は、留学生たちと出かけた卒業旅行の思い出の一枚を、モノトーンに変換しようと思います。

Before

■元画像

全体的に暗めに写ってしまった写真。これを明るく補正しながら、セピア、モノクロ写真に変換します。



Section 2

露出を補正しよう

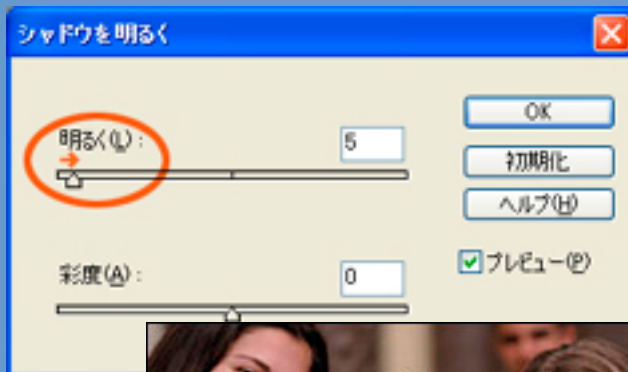
つぎに、写真の露出に注目します。この写真は、少しアンダー気味に写っているため、全体的に明るく補正してみます。

【操作手順】

- 1 [画質調整]-[ライティング]-[シャドウを明るく]を選択します。
- 2 「シャドウを明るく」というダイアログボックスが開きます。ここで「明るく」というスライダーを適当な位置へ右に動かします。
※「プレビュー」にチェックを入れて、画像の変化を確認しながら操作してみましょう
- 3 「OK」ボタンで確定します。これで、人物の顔が明るく変化しましたね。

Challenge

■シャドウを明るく補正する



Section 3

「色相・彩度」でセピア調に変換

そして、セピア調に変換です。
それには、「色相・彩度」を調整します。

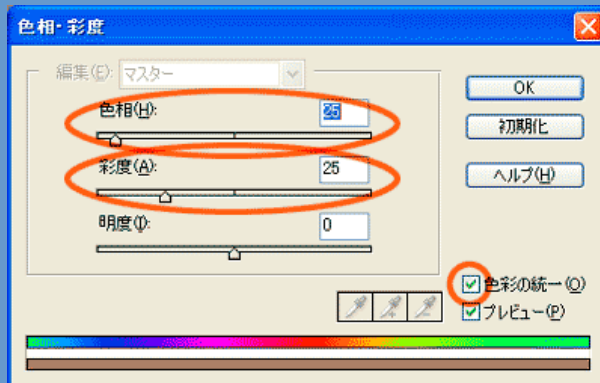
【操作手順】

- 1 [画質調整]-[カラー]-[色相・彩度]を選択します。
- 2 「色相・彩度」というダイアログボックスが開きます。ここで、右下の「色彩の統一」にチェックを入れます。
- 3 「色相」、「彩度」の値をそれぞれ設定し、「OK」ボタンで確定します。
設定値は画像の内容によって異なりますので、「プレビュー」にチェックを入れて、画像の変化を確認しながら操作してみましょう



After

■色相・彩度で、お好みのセピアに変換する



バッチリ



Section 4

「グレースケール」でモノクロ変換

ちなみに、モノクロ調に変換する方法もご紹介しましょう。

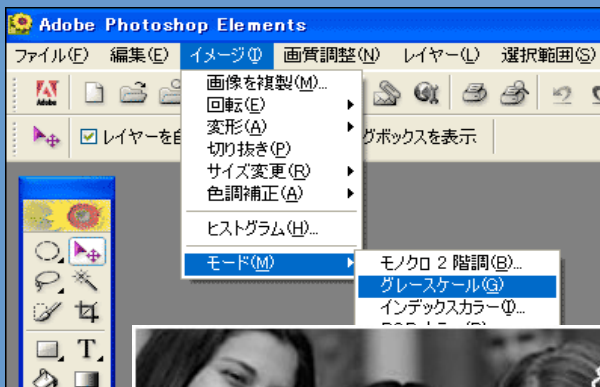
【操作手順】

- 1 [イメージ]-[モード]-[グレースケール]を選択します。
- 2 レイヤーが2つ以上作られている場合は、レイヤーを統合するかどうかのメッセージが表示されます。「統合する」「統合しない」のいずれかを選ぶと、画像がモノクロに変換されます。



After

■色相・彩度で、お好みのセピアに変換する



バッチリ

